

【市場展望】日本株は再び最高値更新へ

■ 日経平均株価は短期的な調整一巡で、最高値更新へ

今週（8月25～29日）の東京株式市場は短期的な調整から抜け出し、日経平均株価は再び最高値更新を狙いそうだ。日経平均株価が短期急上昇により初めて4万3,000円台に乗せ最高値を更新してきたことや、ジャクソンホール会議を控えていたことなどから、先週の東京市場は東証プライム市場の売買代金が低調に推移するなどやや調整色が濃かった。しかし、米利下げ期待が高まったことから、22日の米国株式相場が大幅上昇するなど投資家心理が改善しており、日本株にも追い風となりそうだ。

ところで、米国時間27日（日本時間28日）に米半導体大手エヌビディアの2025年5～7月期決算が発表される。半導体市場の先行きを占う上で注目度が高い企業であり、国内半導体関連株への影響も大きい。国内の半導体関連株やAI（人工知能）関連株に上昇一服感が漂うだけにエヌビディアの四半期決算には注目したいところだ。

■ 米国は9月利下げ再開へ

8月22日、米カンザスシティ連銀主催の経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」で、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が講演した。パウエル議長は、雇用の下振れリスクに言及しつつ、「政策スタンスの変更を検討する際に慎重に進める」意向を表明。さらに、「基準となる経済見通しとリスクのバランスの変化は政策の調整を正当化する可能性がある」と利下げに前向きな姿勢を示した。一方、従来通りデータに基づいて判断する姿勢を強調した。

パウエル議長の講演を受け、8月22日現在、Fedウォッチでは、9月会合での0.25%の利下げの確率が約85%と前日の約75%から上昇した。さらに、12月に2回目の利下げが実施されるという予想も優勢となっている。米利下げ再開が近く、日本株の上昇を支援することになるだろう。

（2025/8/25 大塚 俊一）



いちよし証券

【重要開示事項】

- この資料は情報提供を目的として作成されたものです。投資勧誘を目的としたものではありません。そのため証券取引所や証券金融会社が発表する信用取引に関する規制措置等については記載しておりません。
- この資料は信頼しうるデータ等に基づいて作成されたものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、将来の株価等を示唆・保証するものでもありません。
- 記載された内容・見解等はすべて作成時点でのものであり、予告なく変更されることがあります。
- この資料に関するお問い合わせは、弊社担当者へお願いいたします。

【ご投資に当たっての注意事項】

- 有価証券の価格は売買の需給関係のみならず、政治・経済環境や為替水準の変化、発行者の信用状況の変化、大規模災害の発生による市場の混乱等により、変動します。そのため有価証券投資によって損失を被ることがあります。商品や銘柄の選択および投資の時期等の決定は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- 弊社は資料に記載された有価証券を保有または売買することや、資料に記載された企業に対し投資銀行業務を行うことがあります。
- 弊社取扱商品の購入申し込みをされる際には契約締結前交付書面、目論見書等を必ずお受け取りください。商品ごとにリスクや手数料等費用は異なりますので、内容をよくご確認ください。目論見書等は弊社担当者へご請求ください。

【手数料等の費用について】

- 株式等（ETF・ETN・REIT等を含む）のお取引にあたっては、約定代金に対して最大1.43%（最低手数料3,300円（税込み））の委託手数料をいただきます。株式等を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 投資信託のご購入にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の購入時手数料をいただきます（換金時に換金時手数料としていただく場合もあります）。また保有期間にわたって信託財産の純資産総額に対し最大2.585%（税込み・年率）の運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用を間接的に負担いただきます。さらに換金時に最大1.0%の信託財産留保額を負担いただく場合があります。
- 債券を募集または弊社との相対取引で購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。